

「サン・ビセンテ地区下水道改善計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「サン・ビセンテ地区下水道改善計画」のための、当館とプカラ市による贈与契約署名式が行われました。

供与額： 9,803,640円
贈与契約締結日： 2015年12月18日

プカラ市は、同市中心部から約1 kmの距離に位置するサン・ビセンテ地区において、1998年に15戸に対し浄化槽式下水処理設備を含む下水道を整備した。人口増加による必要性に迫られ2013年に新たに85戸に対し配管を接続したが、予算不足のため新規下水処理施設の建設まで至らず、既存の下水処理設備にて対応せざるを得なかった。しかし、既存設備は規模が小さく能力不足のため実質機能していない状態である。結果として汚水は浄化槽から溢れ、付近を流れる河川に流れ着くため、自然環境への汚染も深刻である。また、最近移住してきた民家約6軒には現在下水道が整備されておらず、それぞれの敷地内に家庭用浄化槽（地面に穴を掘り、汚水等を溜め、土壌に水分を浸透させる仕組み）を設置し生活排水の処理を行っている。しかし、家庭用浄化槽の使用限度期間は長くないため（平均1～2年程度）、次々と別の場所へ浄化槽を掘らないといけない上、維持管理には年間約300米ドルがかかり、同地区住民の家計を圧迫している。

本計画は、前述の地区において下水処理場を整備することによって、汚臭や用水路の汚水が解消され、用水路の隣接住民及び農家の衛生・生活環境改善に貢献しようとするものです。

計画実施前



署名式

